

住民説明会要旨

説明会	宝塚市都市計画マスタープランの改定及び宝塚市立地適正化計画の策定にかかる住民説明会
開催日時	令和3年(2021年)8月24日(火) 14:00~16:00
開催場所	男女共同参画センター 学習交流室 1A・1B
参加者	1名
事務局	尾崎都市整備部長、福田都市整備室長、谷口都市計画課長、村田係長、神山係長、株式会社地域計画建築研究所2名
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次第 2. 資料1 宝塚市都市計画マスタープランの改定について 3. 資料2 宝塚市立地適正化計画の策定について 4. 資料3 スケジュール 5. 資料4 宝塚市都市計画マスタープラン原案 6. 資料5 宝塚市立地適正化計画原案
説明内容	宝塚市都市計画マスタープラン原案、宝塚市立地適正化計画原案、スケジュールについて説明
質疑応答	
<p>【交通ネットワークについて】</p> <p>(参加者) バスの利用者や便数が減少する状況の中、交通のネットワークの施策が重要だと考えている。</p> <p>(事務局) 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画では、交通ネットワークの形成の方針として、駅間及び駅-居住地間のネットワーク形成や新たな移動手段の検討などを掲げており、具体的には別途策定予定の地域公共交通計画で示すことで考えている。</p> <p>【地域まちづくりの担い手について】</p> <p>(参加者) 居住環境を守っていくため、これからは地域住民たちが地域の担い手を作っていくことが重要である。そのために意欲を持った地域の担い手を育成するような支援制度が必要である。</p> <p>(事務局) 都市計画マスタープランでは、都市づくりにおける協働の推進として多様な主体の活動の促進を掲げており、行政情報の蓄積と提供、出前講座や専門家派遣などを実施していくことを考えている。また、地域に応じた支援については、都市計画以外の分野との連携しながら進めていきたいと考えている。</p>	

住民説明会要旨

説明会	宝塚市都市計画マスタープランの改定及び宝塚市立地適正化計画の策定にかかる住民説明会
開催日時	令和3年(2021年)8月26日(木) 14:00~16:00
開催場所	西公民館 ホール
参加者	3名
事務局	尾崎都市整備部長、福田都市整備室長、谷口都市計画課長、村田係長、神山係長、株式会社地域計画建築研究所2名
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次第 2. 資料1 宝塚市都市計画マスタープランの改定について 3. 資料2 宝塚市立地適正化計画の策定について 4. 資料3 スケジュール 5. 資料4 宝塚市都市計画マスタープラン原案 6. 資料5 宝塚市立地適正化計画原案
説明内容	宝塚市都市計画マスタープラン原案、宝塚市立地適正化計画原案、スケジュールについて説明
質疑応答	
<p>【都市計画道路について】</p> <p>(参加者) 都市計画決定された道路で50年以上着手されていないものについて、見直しを行うことなどの記載はないか。</p> <p>(事務局) 都市計画マスタープランでは、都市施設整備等の方針として、施設ごとの各種マネジメント計画などに基づく、体系的・計画的な整備を掲げている。都市計画道路の見直しは、この方針に含まれており、個別計画に基づき整備していくことで考えている。</p> <p>【宝塚の魅力づくりについて】</p> <p>(参加者) 宝塚ファミリーランドもなくなり、宝塚の魅力がなくなっている。祈りの文化と言われる清荒神や中山寺といった神社仏閣のPRを前面に出してはどうか。</p> <p>(事務局) 都市計画マスタープランでは、清荒神や中山寺周辺を歴史景観ゾーンとして位置づけ、地域の実情を踏まえて、歴史を生かしたまちづくりのあり方について住民とともに検討していくと掲げている。具体的には、時代や地域の実情にあわせて各事業課で実践していくと考えている。</p> <p>【防災について】</p> <p>(参加者) 立地適正化計画に関連して急傾斜地の擁壁工事に対する補助はあるか。</p> <p>(事務局) 急傾斜地の整備については県の事業である。窓口は市公園河川課で、協議先は宝塚土木事務所となる。</p> <p>(参加者) 武庫川ダムについての記載はないのか。</p> <p>(事務局) 武庫川ダムについては、記載していない。県が休止状態に入っており、整備手法</p>	

も検討されていない。

(参加者) 総合治水の観点から深谷池の活用についてどう考えているか。

(事務局) 災害等を考えた場合を含め、貴重な資源として有効活用をすべきと考えている。県の進捗が難航しているが、治水対策として県と対話しながら進めていきたい。

【地域の歴史や実情について】

(参加者) 誰のための計画なのかという疑問を持った。計画を策定する段階においても、地域の歴史や実情を踏まえることを意識してほしい。

(事務局) 今後の都市づくりは、地域に住んでる方々がそれぞれの手によって、地域の日常生活の質を高めていくかが重要であり、それを実現させるために都市計画がどのように関わっていくかという視点を持った計画を目ざしている。市民とともに都市づくりを推進するための計画として考えており、そのことが伝わるような文章となるよう努めていく。

住民説明会要旨

説明会	宝塚市都市計画マスタープランの改定及び宝塚市立地適正化計画の策定にかかる住民説明会
開催日時	令和3年(2021年)8月31(火) 14:00~16:00
開催場所	西谷会館 屋内活動室
参加者	2名
事務局	尾崎都市整備部長、福田都市整備室長、谷口都市計画課長、村田係長、神山係長、中坂職員、株式会社地域計画建築研究所3名
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次第 2. 資料1 宝塚市都市計画マスタープランの改定について 3. 資料2 宝塚市立地適正化計画の策定について 4. 資料3 スケジュール 5. 資料4 宝塚市都市計画マスタープラン原案 6. 資料5 宝塚市立地適正化計画原案
説明内容	宝塚市都市計画マスタープラン原案、宝塚市立地適正化計画原案、スケジュールについて説明
質疑応答	
<p>【目標に向けた具体的な手段について】</p> <p>(参加者) 計画の目標を実現するための手段として、立地適正化計画の届出制度以外で想定されているものは何か。</p> <p>(事務局) 都市計画マスタープランについては、大きな方針を示すものであり、具体的な手段は実施計画などで示すことになる。立地適正化計画については、誘導施策として、居住誘導、都市機能誘導、交通ネットワークに関する施策を記載している。</p> <p>【北部地域について】</p> <p>(参加者) 西谷地域では、移動手段をどうするのか、学校をいかに維持していくのかという課題がある。これらのことについて都市計画とどのように関連づけられているか</p> <p>(事務局) 北部地域については、北部地域まちづくり基本構想があり、観光、農業振興、土地利用、公共交通などについて横断的に記載をしている。この構想を基に各分野の事業が動いている状況で、土地利用については、北部地域土地利用計画で考え方が示されている。また、公共交通については、現在地域公共交通計画を検討しており、地域ごとの公共交通の方向性を示す計画を策定する予定である。</p> <p>都市計画マスタープランでは、土地利用の方針として北部地域の方針を掲げており、また、都市施設整備等の方針として公共交通の方針を掲げている。</p> <p>【雲雀ヶ丘地域について】</p> <p>(参加者) 地域拠点である雲雀ヶ丘花屋敷が都市機能誘導区域ではないのはなぜか。</p> <p>(事務局) 立地適正化計画では、雲雀ヶ丘花屋敷の誘導方針として、住環境を重視する方針を掲げており、都市機能誘導区域を設定していない。</p>	

【都市計画マスタープランと立地適正化計画の関係について】

(参加者) 都市計画マスタープランと立地適正化計画は併せて作成する必要があるのか。

(事務局) 併せて作成する必要はありません。

【都市づくりにおける協働について】

(参加者) 都市づくりにおいて、関心のない市民を取り組んでいくことについての考え方はあるか。

(事務局) 都市計画マスタープランでは、都市づくりの推進のために都市づくりにおける協働の推進を掲げ、市民と行政の関わり方などの方針を示している。